

「県立高校改革推進プラン・第2次実施プログラム」要約版

第2次実施プログラムは、今後実施すべき高校改革のうち、検討を終えた具体計画を取りまとめたものです。

1 県東部や南部の小規模校の活性化と地域を支える人材の育成

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
多 古	令和9年度	普通科 園芸科	・地域連携協働校の指定 ・地域社会に関する学び※を導入
市 原	令和9年度	普通科 園芸科	・地域連携協働校の指定 ・地域社会に関する学び※を導入

※ 地域社会に関する学び

地域連携協働校に指定した学校において、「総合的な探究の時間」等を活用し、地域を探究するほか、地域の方を講師として招くなど、学校と地域が連携・協働することで、将来、地域の担い手としてその発展に尽力・貢献する人材を育成します。

2 水産系高校の学びの魅力化

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
銚子商業	令和9年度	商業科 情報処理科 海洋科	・海洋科に洋上風力発電に関する学びを導入
大 原	令和9年度	総合学科 〔普通系列 園芸系列 海洋科学系列 生活福祉系列〕	・海洋科学系列の栽培漁業やマリンレジャーに関する学びの充実
館山総合	令和9年度	工業科 商業科 海洋科 家政科	・海洋科に沿岸漁業に関する学びを導入（コースの再編を含む） ・専攻科を廃止（令和12年度末）

○県内の水産系高校では、遠隔地からの生徒募集に係る受入体制の整備を進めます。

3 工業系学科の学びの魅力化

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
東総工業	令和9年度	工業に関する学科	・工業に関する学科を再構成
茂原樟陽	令和9年度	工業に関する学科 農業に関する学科	・工業に関する学科を再構成

○県内の工業系高校では、地元企業と連携して学ぶことにより、実践的なスキルを習得するデュアルシステム※を各学校の実情に応じて導入します。

※ デュアルシステム

学校と企業がともに生徒を育成する職業教育で、インターンシップよりも長い期間で就業訓練を行うことで、実践的な技能・技術を身に付けることができます。

4 少子化への対応と多様なニーズに応える新しい学校づくり

対象高校	使用校舎	実施年度	設置学科	備 考
八千代東 八千代西	八千代東	令和 10年度	普通科	・学びの多様化学校※（コース制）を設置 ・単位制を導入 ・校名については今後検討
船橋豊富 船 橋 北	船橋豊富	令和 10年度	総合学科	・普通科を改編し総合学科を設置 ・校名については今後検討
沼 南 沼南高柳	沼南高柳	令和 10年度	定時制の課程 普通科 通信制の課程 普通科	・全日制の課程普通科を改編しフレキシブルスクール（定時制の課程と通信制の課程の併置校）を設置 ・校名については今後検討

○統合校では、両校の学びを継承することを検討しています。

※ 学びの多様化学校

不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施する必要がある場合、文部科学大臣が、学校教育法施行規則に基づき学校を指定し、特定の学校において教育課程の基準によらずに特別の教育課程を編成して教育を実施することができる学校です。

5 進学指導重点校※の更なる充実

対象高校	実施年度	設置学科	備 考
柏	令和9年度	普通科 理数科	・単位制を導入
佐 原	令和9年度	普通科 理数科	・単位制を導入

○両校では、先進企業や研究機関、大学等の連携によるフィールドワークやワークショップ等の実践を通じ、探究的な学習を軸とした理数教育の更なる充実に取り組みます。

※ 進学指導重点校

千葉県教育委員会が指定する、進学実績の向上に重点を置く高校であり、県内の各学区に設置しています。指定校では、組織的で計画的な進学指導を推進し、生徒一人一人の学力向上を図り、生徒の目標達成を支援する教育活動を展開しています。教員の人事配置においては公募制を導入し、進学指導等に意欲ある教員を積極的に配置しています。